

| | | |
|----|-------------|--------|
| 1年 | 単 元 名 | かたちあそび |
| 算数 | | |

1. 単元の目標

| |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・身の回りにあるものの形について、その概形や特徴、機能を捉えたり、構成や分類をしたりする。 【知識・技能】 ・身の回りにあるものの形に着目し、その特徴を捉えたり、具体的な操作を通して形の構成について考え、表現したりする。 【思考・表現・判断】 ・身の回りにあるものの形について、構成・分類をしたり特徴や機能を捉えたりした過程や結果を振り返り、そのよさや楽しさを感じながら学ぼうとする。 【主体的に学習に取り組む態度】 |
|--|

2. 学校図書館活用のポイント※目標との関連も踏まえて

| |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・単元の導入で絵本の読み聞かせをし、ものの形の特徴をイメージしやすくした。また、単元をとおして、子どもの思考の流れに沿い、本のストーリーと関連付けた学習課題を設定したことで、子どもたちの活動意欲が高まった。 |
|---|

3 単元計画（全5時間）

| 時 | ○主な学習活動と・児童の反応 | 評価 | | | | |
|-------------|--|----|---|---|---|---|
| | | 記 | 知 | 思 | 主 | 評価規準（評価方法） |
| 1 | ○「○△□ぼし」の街をつくろう (1) 街にはどんなものがあるかな ・益田は、四角い建物がいっぱいあるね。 ・家の屋根は三角が多いよ。 ・グラントワはどんな形だったかな。 ・校外学習で万葉公園に行ったよ。 ・ぼくたちは公園の滑り台を作りたいな。 | | ○ | | | 立体が身の回りでのどのようなどころに見られるかを話し合うことを通して、立体の概形や特徴を捉えている。(発言・ノート) |
| 2 本 時 | (2) どんな形の箱があれば作れるかな ・タワーを作るなら、細長い形の箱があるね。 ・(空き缶や筒の形) これは横にしたら転がるからタイヤにしようかな。 | | | ○ | | 積み木遊びに使う箱についてペアで考える活動を通して、立体の特徴や機能に着目し、立体の構成について考えている。(発言・行動観察・ノート) |
| 3 | (3) 街を完成させよう ・きりんの首は細長い箱がいいかな。 ・顔は三角の箱を横にしてのせようか。 | | | ○ | | 立体の特徴や機能を用いて、形の構成について考え、表現している。(発言・成果物・ホワイトボード・行動観察) |
| 4 | ○「○△□せいじん」のみんなに形のひみつを教えてあげよう ・四角の箱を集めよう。 ・ボールも空き缶も転がるから仲間だよ。 ・空き缶は、横から見たら四角だね。 | | ○ | | | 箱の積み木遊びを通して気付いた立体の特徴・機能を用いて、形を分類している。(発言・成果物・行動観察) |
| 5 | ○「○△□せいじん」のみんなに形の絵をプレゼントしよう ・丸をかきたいから、空き缶を使おう。 ・ロボットの絵をかきたいから、四角の箱をつかおう。 ・○△□せいじんさん、喜んでくれるかな。 | ★ | | | ○ | 箱の積み木遊びや身の回りの具体物を分類した過程や結果を振り返り、そのよさや楽しさを感じながら形の絵をかいている。(発言・成果物・行動観察・ノート) |

4. 本時の授業の流れ

| <p>主な学習活動と予想される児童の反応（・）</p> | <p>○教師の支援◆評価 ☆学校図書館の活用に関すること</p> |
|---|--|
| <p>1 課題をつかむ。</p> <p>○△□ぼしの街をつくらう</p> <p>ほしい箱がわかるように ホワイトボードにあらわそう</p> <p>例えば、吉田小学校だったら・・・</p> <ul style="list-style-type: none"> ・四角いところが多いね。 ・図書館のところは屋根が三角だね。 ・学校は窓がいっぱいあるよ。 <p>2 ペアで積み木遊びに必要な箱の形について考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電車を作るから、四角くてちょっと細長い箱をいくつか使うよ。車輪は、丸い形のものを使おう。 ・タワーを作りたいから、四角い箱で土台を作って、その上に細長い箱をいくつか積んでいこう。 ・三角の箱が2つほしいけど、セットには三角の箱が1つしか入っていないね。  <p>3 ペアで話し合ったことを全体で共有する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高いタワーを作るのに、三角の形は一つでいいので他の形に交換したいな。 ・電車を作りたいので、車輪にできるものがもっとほしいな。 <p>4 振り返りをノートに書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ほしい箱について考えるのが楽しかったよ。早く作りたいな。 ・よく転がる形と転がらない形があったよ。 ・高く積むには平らなところがある箱がいいことがわかったよ。 | <p>○前時の学習を振り返り、本時の学習への繋がりを意識できるようにする。</p> <p>○積み木遊びに使う材料の形に着目し、建物の窓やや装飾、材料である箱の色や材質などはし捨象することを確認する。</p> <p>○工作活動にならないようにするため、テープやのりは使わないことを伝える。</p> <p>○児童のが発言から形に関する言葉を拾って全体に広めることで、言葉で表現することにも意識が向くようにする。</p> <p>☆学校図書館の資料を基に、ペアで積み木遊びに必要な箱の形について考える。</p> <p>☆ホワイトボードに作りたいものの写真を貼り、必要な箱の形を書き込んだり、不足している形をメモしたりできるようにする。</p> <p>○ペアに一つ箱のセットを用意し、その中にあるもので作れるか、不足している箱はないかなどについて考えることで、立体の特徴や機能について活発に言葉でやり取りをすることを促す。</p> <p>○左のような発言があった際には、「どうして三角の形は一つでいいのかな。」「車輪にできる形はどんな形かな。」などと問い返し、立体の特徴や機能について考えを深められるようにする。</p> <p>○立体の特徴や機能に着目した振り返りを紹介し、友だちの考えから自分の考えを広げたり深めたりできるようにする。</p> <p>◆積み木遊びに使う箱についてペアで考える活動を通して、立体の特徴や機能に着目し、立体の構成について考え、自分たちなりの設計図を作る。（発言・行動観察・ノート）</p> |

4. 研究協議の記録及び考察（成果や課題等）

学校図書館の資料を活用して、子どもたちが「つくりたいもの（立体）」を選び、ものの形のイメージを友達と共有したことで、形の特徴に気付きやすく、気付いたことを自分の言葉で友達に伝える姿がたくさん見られた。

つくりたいものの中にはタワーやお城などがあったが、普段実際に見たり触れたりできないものを、本をとおして体験することができた。